

Sleep Medicine

2009;10:556-65.

Development of a Japanese version of the Epworth Sleepiness Scale (JESS) based on Item Response Theory.

Takegami M, Suzukamo Y, Wakita T, Noguchi H, Chin K, Kadotani H, Inoue Y, Oka Y, Nakamura T, Green J, Johns MW, Fukuhara S.

ESS (Epworth Sleepiness Scale)は、主観的な日中の眠気を測定する尺度であり、英国の胸部疾患学会のガイドラインでも、眠気の評価に使用することが推奨されている。ESSは、すでに日本でも使われていたが、その測定概念の理解に誤解や混乱があった。我々は、国際的に標準とされている尺度開発の手続きを踏み、原版(英語版)が測定している概念を保持しつつ、日本人の生活様式に適した項目に修正した。項目内容の変更においては、複数の代替項目を作成し、項目応答理論を活用し、原版の項目とできるだけ同等の特性(潜在特性の位置づけ、識別度)を有する項目を選択した。項目を変更した結果、識別度(眠気が強い対象と眠気が低い対象とを区別する力)が高い項目を選んだことにより、尺度全体の精度が高くなり、特に眠気が強い対象で尺度の精度が高くなった。さらに、古典的テスト理論を用いて、信頼性、妥当性の検証を行った。